

6. 講演会・発表会等

国総研が外部へ向けて所のPRを目的として開催した講演会、又は国総研が所内職員へ向けて研究成果の情報共有を行うとともにそれを踏まえたスキルアップを目的として開催した発表会等を以下に記す。

6.1 国土技術政策総合研究所講演会

「令和3年度国土技術政策総合研究所講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各研究部門の最新の研究動向・研究成果に関する講演を事前に収録し、国総研ホームページ上で令和3年12月20日（月）から動画を配信する形式で実施した。本講演会では、住宅・社会資本分野における調査・研究の動向について、当所の研究部長などが講演を行った。

開催日；

令和3年12月20日（月）から配信開始

講演名	発表者
下水道における脱炭素に向けた取組	下水道研究部長 南山 瑞彦
ハード・ソフト両面で取り組んできた津波対策に関する研究	河川研究部長 福濱 方哉
土砂災害防止法の施行から20年～土砂災害対策への取り組み～	土砂災害研究部長 富田 陽子
交差点での歩行者交通安全に関する取組み	道路交通研究部長 高宮 進
頼れるつくばの助っ人研究者 ー道路災害における道路構造物研究部の活動ー	道路構造物研究部長 福田 敬大
熊本地震からの創造的復興を目指してー国総研初の現場密着型研究室の軌跡ー	熊本地震復旧対策研究室長 西田 秀明
建築物の屋根ふき材及び小屋組の強風対策に関する研究動向	建築研究部長 長谷川 洋
建築分野におけるBIM推進 ー「維持管理BIM」の取組みと課題ー	住宅研究部長 高橋 暁
都市のグリーン化に向けて ～2050年カーボンニュートラルの実現に資する都市分野の研究開発の動向～	都市研究部長 遠山 明
沿岸海洋・防災研究部の最近の研究について	沿岸海洋・防災研究部長 森木 亮
港湾分野におけるi-Constructionと研究動向	港湾研究部長 丹生 清輝
地震後の空港舗装の点検・応急復旧マニュアルについて	空港研究部長 小野 正博
建設生産プロセスにおける3次元／デジタルデータの活用 の動向 ～生産性向上／働き方改革を目指して～	社会資本マネジメント研究センター長 岩崎 福久

6.2 国土交通省国土技術研究会

「令和3年度国土交通省国土技術研究会」がオンラインで開催された。本研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催するもので、今回で75回目を迎えた。

初日（11月4日）は、自由課題（一般部門（安全・安心、活力）、イノベーション部門）を中心に73課題の発表が行われた。2日目（11月5日）は、自由課題（アカウンタビリティ部門）、指定課題を中心に20課題の発表が行われた。さらに2日目の午後には、慶應義塾大学環境情報学部教授/ ヤフー株式会社 CS0 安宅和人氏による特別講演が行われた。

イノベーション部門において「港湾分野における消波ブロックを対象としたUAV写真測量の標定点の配置方法に関する検討」を発表した、港湾施工システム・保全研究室 小川主任研究官、「可搬タイプの「車両の経路情報収集装置」の開発」を発表した、高度道路交通システム研究室 寺口研究官がともに「優秀賞」を受賞した。

開催日及び会場；

開催日	令和3年11月4日（木）、5日（金）
会場	なし（オンライン開催）

[自由課題]

自由課題は、一般部門、イノベーション部門、アカウンタビリティ部門の三部門で構成されている。国総研からは、一般部門において以下の2課題、イノベーション部門において以下の3課題を発表した。

課題名	発表者
（一般部門：安全・安心） 戦略的な人材育成の実現に向けた技術力の解明の試み-道路橋の維持管理に着目して-	道路構造物研究部 構造・基礎研究室 主任研究官 宮原 史
（一般部門：活力） 事業段階と実施体制に着目した質の高い公共デザイン創出モデルの構築	社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 研究官 岩本 一将
（イノベーション部門） 地方公共団体及び企業におけるスマートシティ化の意向と課題	都市研究部 都市計画研究室 主任研究官 熊倉 永子
（イノベーション部門） 港湾分野における消波ブロックを対象としたUAV写真測量の標定点の配置方法に関する検討	港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室 主任研究官 小川 雅史
（イノベーション部門） 可搬タイプの「車両の経路情報収集装置」の開発	道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 研究官 寺口 敏生

6.3 国土技術政策総合研究所研究発表会

「令和3年度国土技術政策総合研究所研究発表会」を旭庁舎、横須賀庁舎において開催した。本研究発表会は、分野横断的な交流と情報提供を促進することを目的として実施した。また、若手研究者には、発表の場を提供するとともに先輩研究者からの質疑対応などによって、個々のスキルアップ向上が図られることを期待するものである。

今年度は、主任研究官6名、研究官4名、研究員1名、係長1名の職員による12研究課題の発表を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議システム「Zoom」を活用して自席や在宅での聴講や質問も可能とした。各研究発表課題の発表後には会場や「Zoom」のチャット機能から、積極的な質問や意見が挙がった。

なお、優秀な発表を行った職員に対して「最優秀賞」、「優秀賞」及び「若手奨励賞」が授与された。

開催日及び会場；

開催日	令和3年7月28日（水）
会場	旭庁舎（茨城県つくば市旭1）、横須賀庁舎（神奈川県横須賀市長瀬3-1-1）

課題名	発表者
越水に対する堤防強化に関する検討	河川研究部 河川研究室 主任研究官 三好 朋宏
CCTVの画像情報を用いた降雨強度推定手法の検討	土砂災害研究部 土砂災害研究室 研究官 金澤 瑛
空港舗装打音検査システムの導入検討	空港研究部 空港施工システム室 係長 森永 俊
戦略的な人材育成の実現に向けた技術力の解明の試み —道路橋の維持管理に着目して—	道路構造物研究部 構造・基礎研究室 主任研究官 宮原 史
既存RC造集合住宅の耐久性評価手法に関する研究	建築研究部 材料・部材基準研究室 主任研究官 土屋 直子
可搬タイプの「車両の位置情報収集装置」の開発 ～観光地や被災地の交通状況を機動的に把握することを可能に！～	道路交通研究部 高度道路交通システム 研究室 研究官 寺口 敏生
港湾分野における消波ブロックを対象としたUAV写真測量の標定点の 配置方法に関する検討	港湾研究部 港湾施工システム・保全研 究室 主任研究官 小川 雅史
下水処理プロセスの安定化・高度化に向けた微生物群集構造と水質状 況の関連性把握の試み	下水道研究部 下水処理研究室 研究員 長寄 真
超高齢社会におけるAI・IoT技術の住宅活用へのニーズと課題に関 する研究	住宅研究部 住宅生産研究室 主任研究官 小野 久美子
都市問題の解決に向けた新技術導入（スマートシティ化）に関する研 究-都市問題を抱える地方公共団体と新技術を保有する企業への意向 調査	都市研究部 都市計画研究室 主任研究官 熊倉 永子
みなとオアシス登録施設の配置計画に関する研究	沿岸海洋・防災研究部 沿岸域システム研究室 研究官 小松崎 真彦
質の高い公共デザインの創出手法に関する研究	社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 研究官 岩本 一将

6.4 港湾空港技術講演会

本講演は、当所及び国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所で実施している調査、研究、技術開発の成果を公表し、その普及に努めることを目的に開催している。令和3年度の講演は、みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)より、『カーボンニュートラルを巡る最新動向について』と題する特別講演と、両研究所から最近の研究成果を発表した。

開催日及び会場；

開催日	令和4年1月31日(月)
会場	Microsoft Teams によるリモート開催

講演名	発表者
◆特別講演	
カーボンニュートラルを巡る最新動向について	みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) 羽島 智之 遠藤 啓史
◆一般講演	
近年の海事動向のデータ分析 -新型コロナの影響及び脱炭素船の動向を中心に-	港湾研究部 港湾計画研究室 主任研究官 上田 剛士